

山形県尾花沢市 <sup>さいとう</sup> 齊藤 <sup>ひろし</sup> 寛・<sup>ともみ</sup> 智実 氏

作付面積：5.1ha(スイカ4.3ha、水稻0.6ha、  
スイカ苗0.2ha)



<取組概要>

重量野菜で機械化が難しいスイカで、「省力化・効率化」と「経営規模拡大」を両輪とし、「地域の発展をなくして、自身の発展なし」をモットーに、新技術を積極的に導入した独自の発想による作業効率の改善などを実践。親子で地域の基幹作物であるスイカの高品質・安定生産を実施。寛氏は地域農業のリーダー、智実氏は地域の若手生産者として活躍。

これまで、蔓を土から遮断することで病害抑制するための全面マルチ栽培をはじめとして、追肥をむらなく効率的去るため、灌水チューブを利用した液肥による追肥などの新技術をいち早く導入。

高い技術力が求められる育苗を自ら行い、周辺農家に良質なスイカ苗を販売することで収益性を向上。

多大な労働力を要する重量野菜であるスイカの選果作業の負担軽減のため、回転式の選別機を独自に開発。選果や箱詰め作業に要する労働時間の2割低減や労働強度の低減を実現。

経営規模を拡大する中で、的確にほ場や経営の状況を把握するため、山形県と連携したICTを活用した農業管理システムの導入の他、取引先や消費者のニーズ等を踏まえて国際水準GAPの取得を検討している等、地域に先駆けた取組を展開。